

介護事業所へのアンケート調査（平成 27 年度）の結果について

○ 調査期間 平成 28 年 1 月～3 月

○ 調査事業所 937 事業所

※ 主として訪問介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護を行っている事業所については数が多いため、その半数を無作為に抽出。その他の介護サービスを主に行っている事業所はすべて対象。

○ 回答事業所 546 事業所（回答率 58.3%）

○ 回答のあった事業所において行っているサービス

※ なお、介護老人福祉施設と短期入所生活介護など、職員が兼任して一体的に運営している場合には、その一体的に提供している複数のサービスも含む。

種 別	
訪問介護	172
訪問入浴介護	17
通所介護	165
短期入所生活介護	58
短期入所療養介護	43
特定施設入居者生活介護	19
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
夜間対応型訪問介護	1
認知症対応型通所介護	16
小規模多機能型居宅介護	28
看護小規模多機能型居宅介護	1
認知症対応型共同生活介護	49
地域密着型特定施設入居者生活介護	9
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	11
介護老人福祉施設	66
介護老人保健施設	32
合 計	688

1 貴事業所で働く介護職員は何人ですか。(平成 27 年 12 月 31 日現在)

- ・ 回答のあった事業所の全従業員数は 9,390 人で、その就業形態をみると、「正規職員」が 57.2%、「非正規職員」が 42.8%となっている。
- ・ 6 人～10 人の事業所が 27.7%で最も多くなっている

	従業員数 (人)	割合 (%)
正規 常勤 男	1,911	20.4
正規 常勤 女	3,099	33.0
正規 短期 男	41	0.4
正規 短期 女	319	3.4
正規 小計	5,370	57.2
非正規 常勤 男	336	3.6
非正規 常勤 女	1,189	12.7
非正規 短期 男	165	1.8
非正規 短期 女	2,330	24.8
非正規 小計	4,020	42.8
合 計	9,390	

介護職員数	回答事業所数	割合 (%)
1 人～5 人	75	13.7
6 人～10 人	151	27.7
11 人～15 人	93	17.0
16 人～20 人	60	11.0
21 人～25 人	41	7.5
26 人～30 人	42	7.7
31 人～35 人	31	5.7
36 人～40 人	16	2.9
41 人以上	35	6.4
記載なし	2	0.4

2 貴事業所における、介護職員の過不足の状況はどうか。

- ・ 「過剰」、「やや過剰」及び「過不足なし」と回答した事業所は 63%であり、「不足」と回答した事業所は 34.1%となっている。
- ・ 不足人数については、1 人から 3 人の事業所が多くなっている。

	回答事業所数	割合 (%)
不足	186	34.1
過不足なし	319	58.4
やや過剰	23	4.2
過剰	2	0.4
無記入	16	2.9

不足人数	回答事業所数	割合 (%)
1人	78	41.9
2人	54	29.0
3人	31	16.7
4人	5	2.7
5人	8	4.3
6人以上	5	2.7
無記入	5	2.7

3 職員が「不足」と答えた事業所について、その要因をお答えください。(複数選択可)

- ・ 「介護職員を募集しても、募集人数に達するまで応募がない」が78.0%で最も多く、次いで「応募はあることはあるが、採用したい者がいない」が23.7%、「次々に辞めてしまう」が18.8%となっている。
- ・ 「その他」の要因としては、「応募があり採用しても、いじめによりやめてしまう」、「経営上、人件費にあてるお金がない」、「訪問看護と兼務で採用したが、訪問介護に自信がないと退職」、「ケガがなおったので働きたいと採用したが、退職してしまった」、「収益が不安定で少ないため募集がはばからない」、「介護報酬改定に伴う収入減少により、経営上不足分の補充は困難。非正規で募集をするも応募なし」、「病休の増加」が挙げられている。

	回答数	割合 (%)
介護職員を募集しても、募集人数に達するまで応募がないため	145	78.0
応募はあることはあるが、採用したい者がいないため	44	23.7
次々に辞めてしまうため	35	18.8

その他	14	7.5
無記入	8	4.3

4 「次々に辞めてしまうため」に該当する事業所について、職員が次々に辞めてしまう要因は何にあるとお考えですか。(複数選択可)

- ・ 次々に辞めてしまう要因としては、「たまたま職員の個人的な事情による退職が続いたため」が91.4%で最も多く、次いで「職場の人間関係、コミュニケーションに問題がある」が77.1%、「賃金が十分ではない」が68.6%となっている。
- ・ 「その他」の要因としては、「事務所長が新人にクレームを言う」、「前代表者との対立」が挙げられている。

	回答数	割合 (%)
1. 仕事の内容に不満がある・やりがいが少ない	8	22.9
2. キャリアアップの機会が少ない	9	25.7
3. 賃金が十分ではない	24	68.6
4. 労働時間、休日、休暇等の労働時間に不満がある	12	34.3
5. 勤務体制に不満がある	7	20.0
6. 事業所の介護に対する考え方、方針に不満がある	4	11.4
7. 人事評価・処遇のあり方に不満がある	8	22.9
8. 職場の環境に不満がある	7	20.0
9. 職場の人間関係、コミュニケーションに問題がある	27	77.1
10. 雇用が安定していない	7	20.0
11. 福利厚生に不満がある	3	8.6
12. 研修や能力開発のあり方に不満がある	5	14.3
13. たまたま職員の個人的な事情による退職が続いたため	32	91.4
14. その他	2	5.7
15. 特に思いつかない	1	2.9

5 貴事業所では、介護職員として採用する際に、どのような資格等を条件にしていますか。(複数選択可)

- ・ 「介護職員初任者研修（ヘルパー2級）修了」が56.0%で最も多くなっている。一方で、「特に資格等がなくても採用する」が、55.0%となって

いる。

- ・ 「その他」としては、「介護職員としての資質を備えていること」、「早急に資格取得見込みがあること」、「事業所の理念を理解でき、それにそったサービスを行える」、「コミュニケーション能力のある者」、「介護職への意欲と向上心を重視」、「人柄の良い人」、「仕事に対して意欲のある者」、「介護職としての経験」、「人柄」が挙げられている。

	回答数	割合 (%)
1. 介護福祉士資格を有していること	222	40.7
2. 介護職員初任者研修（ヘルパー2級）等を修了したこと	306	56.0
3. 新規学卒者であること	39	7.1
4. 特に資格等がなくても採用する	300	55.0
5. その他	27	5.0
6. 無記入	10	1.8

6 貴事業所の介護職員の1年間（平成27年1月1日～平成27年12月31日まで）の採用者数、離職者数等についてお伺いします。

- ・ 採用率は17.8%、離職率は14.7%となっている。離職率の内訳について、正規・常勤が12.3%と最も高く、非正規・常勤が19.1%と最も低くなっている。
- ・ 1年未満の者の離職率は44.8%、1年以上3年未満の者の離職率は33.5%となっており、離職者の78.3%が3年未満の者が占めている。

〈採用者・離職者〉

	回答事業所数	平成26年12月31日現在の人数 (推計)	平成27年12月31日現在の人数	1年間の採用者数	1年間の離職者数	採用率 (%)	離職率 (%)
正規 常勤	247	4,951	5,010	668	609	13.5	12.3
正規 短時間	26	358	360	65	63	18.2	17.6
非正規 常勤	160	1,440	1,525	360	275	25.0	19.1
非正規 短時間	220	2,360	2,495	531	396	22.5	16.8
計	423	9,109	9,390	1,624	1,343	17.8	14.7

〈勤続年数別離職者〉

	回答事業所数	1年間の 離職者数	1年未満の者		1年以上3年未満の者	
			人	割合 (%)	人	割合 (%)
正規 常勤	247	609	218	35.8	228	37.4
正規 短時間	26	63	36	57.1	8	12.7
非正規 常勤	133	275	166	60.4	74	26.9
非正規 短時間	197	396	181	45.7	140	35.4
計	400	1,343	601	44.8	450	33.5

7 貴事業所での夜勤体制について、お伺いします。

- ・ 夜勤がある事業所は49.8%となっており、夜勤の回数は、1か月あたり5回が最も多くなっている。
- ・ 夜勤専門職員の配置がある事業所は、夜勤のある事業所の27.2%となっている。

	回答事業所数	割合 (%)
夜勤あり	272	49.8
夜勤なし	266	48.7
無記入	8	1.5

〈職員の1か月あたりの回数〉

夜勤の回数	回答事業所
1回	6
2回	2
3回	10
4回	61
5回	96
6回	58
7回	13
8回	8
9回	0
10回以上	3

〈夜勤ありの事業所の夜勤専門職員の配置〉

	回答数	割合 (%)
配置あり	74	27.2
配置なし	180	66.2
無記入	18	6.6

8 貴事業所では、介護職員の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。(複数選択可)

- ・ 「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている」が72.7%で最も多く、次いで「非正規社員から正規社員への転換の機会を設けている」が67.6%、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）」が67.0%となっている。

	回答数	割合 (%)
賃金・労働時間等の労働条件（休暇を取りやすくすることも含める）を改善している	360	65.9
能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している	287	52.6
職場の仕事内容と必要な能力等を明示している	139	25.5
キャリアに応じた給与体系を整備している	258	47.3
非正規社員から正規社員への転換の機会を設けている	369	67.6
新人の指導担当・アドバイザーを置いている	156	28.6
能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	323	59.2
管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	146	26.7
労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている	397	72.7
仕事内容の希望を聞いている（持ち場の移動など）	242	44.3
悩み、不満、不安など相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	211	38.6
健康対策や健康管理に力を入れている	213	39.0
職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	366	67.0
経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	225	41.2
業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	245	44.9
福利厚生を充実させ、職場の交流を深めている（カラオケ、ボウリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	208	38.1

職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	206	37.7
子育て支援を行っている（事業所内保育所の設置、保育費用支援等）	51	9.3
その他	8	1.5
特に方策はとっていない	9	1.7
無記入	3	0.6

9 貴事業所が行った処遇改善策や職場環境の改善策で特に効果があったと考えるものについて、具体的にお答えください。

- ・ 処遇改善（賃金、一時金、各種手当等の充実）
- ・ 今まで、おてもり賃金であったのを、等級制に改善
- ・ キャリアに応じた給与体系を整備し、能力や仕事ぶりを評価し配置や処遇に反映
- ・ 人事考査制度導入
- ・ 給与体系、職位、昇給条件の見直し
- ・ 査定に応じて賞与アップ、パートにも賞与支給
- ・ 有給休暇取得促進
- ・ 労働時間に融通をきかす
- ・ 夜勤時間の短縮
- ・ 個々の能力、向上心を考慮し、正規社員への労働条件への変更を行い、仕事に対するやりがいを見い出している
- ・ 貸与型奨学金制度の導入
- ・ 個々のスキルアップ及びモチベーションを目的とした外部研修
- ・ 資格取得の支援（費用負担、受講日に休暇を取れるように）
- ・ 事業所内保育所の設置
- ・ IT機器の導入により事務時間の軽減
- ・ 介護補助具の導入や介護ロボットの導入による、職員の腰痛予防や精神的負担の軽減
- ・ 洗濯、ゴミ出し等雑務業務専用スタッフの雇用
- ・ QCサークル活動、提案月間表彰の導入
- ・ お昼の休憩は、管理者、サービス管理責任者、一般職員が出来るだけ一緒に取り、コミュニケーションを図っている
- ・ 休憩室の改善（スペース等）
- ・ 社内旅行の実施
- ・ 親睦会（バーベキュー等）等でコミュニケーションが図れる機会を作っている
- ・ 飲食会の一部費用を補助

- ・ 有給休暇の計画的付与
- ・ 連続休暇（7日間）の取得推進
- ・ 誕生日休暇取得支援
- ・ ノー残業デーの設置
- ・ 職員の家族が急な病気等の時、休暇を取れるようにしている
- ・ 新人指導者を置くことで、新人の理転職防止に役立っている
- ・ メンタルヘルスケアの充実
- ・ ミドルリーダーの育成、内外研修プログラム、キャリアアップの奨励
- ・ リーダー会議、スタッフ会議を開催し、職員の思っていることを聞く
- ・ 安全衛生委員会の内容充実

10 貴事業所における勤務体制などについてお答えください。（複数選択可）

- ・ 「日頃から、職員が休んだ時に、他の職員がカバーできるように、情報の共有や、勤務体制を工夫するなどしている」が 80.8%で最も多く、次いで「職員に対して育児休業制度を周知している」が 60.3%、「日頃から職員が有給休暇を取得するよう促している」が 48.7%となっている。

	回答数	割合（%）
職員に対して育児休業制度を周知している	329	60.3
職員に対して介護休業制度を周知している	257	47.1
職員に対して介護休暇制度を周知している	214	39.2
職員に、突然の残業が生じないようにしている	241	44.1
日頃から職員が有給休暇を取得するよう促している	266	48.7
日頃から、職員が休んだ時に、他の職員がカバーできるように、情報の共有や、勤務体制を工夫するなどしている	441	80.8
いずれもあてはまらない	14	2.6
無記入	12	2.2

11 介護職員（正規職員かつ常勤労働者のみ）の平成 27 年の給料の額（年額）をご回答ください。

〈大卒 勤務年数別給与（万円）〉

- ・ 「1～3年」では 213～420 万円、「5年程度」では 260～400 万円、「10年程度」では 284～470 万円、「15年程度」では 255～640 万円となっている。

1～3年	5年程度	10年程度	15年程度
213～284	260	284	255～261
240	283	293	290～320
250～290	290	310	302
270	304～309	330	350～360
274	308	350	350～390
280～300	310	350～390	360
290	317	354～358	380
320	318	360	390～450
328	320	366～380	400
330	320～330	370	440
360	330	380	450
387	350	400	640
420	351	410	
	360	469	
	370	470	
	390		
	400		

〈短大・専門学校卒 勤務年数別給与（万円）〉

- ・ 「1～3年」では180～350万円、「5年程度」では240～430万円、「10年程度」では290～470万円、「15年程度」では220～570万円となっている。

1～3年	5年程度	10年程度	15年程度
180	240	290～320	220
180～220	263	330～370	276
189～308	280	340～350	290
200	300～320	350～450	300
200～220	302	350～360	320
200～290	310	350～380	330
220	320	350～450	330～360
240	330	360～370	350
240～260	330～350	360～440	351～423
250	332～366	365～375	359～457
250～290	333～343	370～410	377

257	340	370~470	380
259	343	372	388
260	350	380	390
270	350~380	386~397	390~400
273	360	390	400
278	361	396~422	400~459
290	370	400	430
290~310	371	410	440
292	380	448~464	446~468
298	407	455	446~478
299	430	470	450
300			461~479
305~310			470~570
310			477
310~330			480~510
320			489~529
320~340			520
320~350			
323~330			
326			
328			
330			
330~350			
334			
340~350			

〈高卒 勤続年数別給与（万円）〉

- ・ 「1~3年」では170~390万円、「5年程度」では137~383万円、「10年程度」では253~480万円、「15年程度」では255~464万円となっている。

1~3年	5年程度	10年程度	15年程度
170	137	253	255~261
190~230	229	260	260
191~211	240~245	270~300	290~320
198	247	290	340
200	250	290~320	350

200~290	250~290	330	350~360
202	260~360	330~340	350~390
210	270	330~400	370
217	270~300	340	390
220	280	350	390~450
230~250	286	350~480	400
240	290~320	360	410
250	293	360~440	454
250~270	300	370~390	464
250~290	300~310	400	
250~310	300~340	410	
260	306	412	
260~320	310		
270	310~320		
270~280	312		
273	314		
277	318~320		
280	320		
280~290	320~340		
280~300	330		
280~310	330~370		
281	335		
290	337		
290~300	340		
294~316	350		
298	368		
300	383		
300~320			
310			
310~350			
320			
330			
336			
390			

〈中途採用者 勤続年数別給与（万円）〉

- ・ 「1～3年」では50～620万円、「5年程度」では100～2,580万円、「10年程度」では130～1,560万円、「15年程度」では200～1,825万円となっている。

1～3年	5年程度	10年程度	15年程度
50～240	100～350	130～370	200～250
89	147	200～260	200～280
90～190	150	200～300	228～252
110～260	160～360	210	230
135	170～270	210～250	237～276
139	190～470	220～260	237～460
150～270	196	228～434	240
160	200	230	250
160～230	200～220	230～572	270
178	200～320	238	271
180～200	201～422	240	280
180～230	203～302	244	280～320
180～240	210	250	280～420
180～260	220～240	250～270	290
182	220～280	250～280	290～300
190	226	260	290～430
190～200	230	260～300	300～310
190～210	230～260	270	300～500
190～230	230～290	270～290	307～311
190～250	236	270～300	310
190～260	240	277	310～330
190～300	240～250	280	318
190～360	244～316	280～310	325～483
191	250	280～320	327
192～252	250～270	280～370	330～340
198～275	250～280	290	330～350
200	250～300	290～300	330～440
200～300	250～340	290～400	340
201～420	250～350	290～410	340～370
204～237	260	300	340～420
207	260～290	300～340	340～440

207~388	260~310	300~350	344~440
210	260~350	300~400	350
210~230	264	300~410	355~404
210~240	270	300~430	360
210~300	270~290	301~391	360~370
220	270~300	310	360~400
220~230	270~330	310~320	360~490
220~270	270~380	312	370~390
220~280	272	314~400	370~410
220~300	277~356	315	370~420
220~310	278~284	320	370~450
220~370	280	320~340	371
223~289	280~300	320~370	380
225	280~370	330	380~440
230	284~317	330~360	381~448
230~250	287~409	330~370	381~487
230~280	290	330~390	390
230~290	290~300	336~351	390~460
232	290~320	340	394
235	290~350	340~350	396
237~258	290~370	340~360	400
240	290~420	340~370	400~410
240~250	293	348	400~450
240~270	295~382	349	400~480
240~280	296	350	405
240~300	300	350~370	410
240~420	300~310	350~390	410~500
242	300~330	350~470	420
250	300~340	350~500	420~450
250~290	300~350	357~364	424~478
250~300	300~387	360	430
250~380	300~400	360~370	437~491
250~420	301~346	360~390	440
251	305	360~400	450
254	310	360~480	464
260	310~330	364	470
260~280	310~370	364~386	480

260~300	312~352	365~441	500
260~320	317~375	368	530
260~340	320	368~508	1825
264	320~330	370	
268	320~340	370~400	
270	320~350	372	
270~300	320~370	373~433	
270~310	320~373	374	
270~320	320~430	379	
270~330	320~600	380	
270~370	324~425	380~420	
271~287	326~342	383	
275	330	389	
276	330~410	390	
280	330~420	390~400	
280~290	333~340	390~460	
280~300	335	400	
280~310	336	400~440	
280~340	336~391	402	
280~360	340	410	
281	340~350	410~450	
282	340~370	430	
283	340~420	440	
286~338	341	450	
289~358	342	450~540	
290	345~346	459	
290~320	347	523	
293~336	350	528	
297~351	350~400	540	
300	356	1380	
300~310	356~432	1560	
300~320	360		
300~350	360~370		
300~360	369		
300~380	370		
304~321	390		
304~435	390~400		

306～321	410		
307	438～440		
308～326	440		
310	859		
310～340	2580		
310～430			
313			
314			
320			
320～330			
324～338			
328			
328～435			
330			
330～350			
340			
341			
350			
357			
360			
360～380			
400			
510			
510～590			
620			

12 資格手当の支給はありますか。

- ・ 「介護福祉士手当」が74.9%で最も多く、次いで「介護職員初任者研修修了者手当」が18.3%、「実務者研修修了者手当」が12.3%となっている。
- ・ 平均支給額については、「介護支援専門員手当」は11,000円、「介護福祉士」は7,848円、「実務者研修修了者」は6,672円、「介護職員初任者研修修了者」は4,474円となっている。
- ・ 「その他」には、「看護師」、「サービス管理責任者」、「社会福祉主事」、「ヘルパー1級」、「介護主任」、「介護職員職務手当」があった。

	支給事業所数	割合 (%)	平均支給金額 (円)
介護福祉士	409	74.9	7,848
介護職員初任者研修修了者	100	18.3	4,474
実務者研修修了者	67	12.3	6,672
介護支援専門員	47	8.6	11,000
社会福祉士	21	3.9	7,286
その他	26	4.8	—